

持続可能な社会の構築に貢献できる グローバル・リーダーの育成

広島県立広島中学校・広島高等学校
土佐 吉男

本日の報告は4部構成です

第1部 概要

第2部 分業と連携★

グローバル・リーダー育成のための教育内容づくり

第3部 課題研究の実際★

パワーポイントの作成とデータベース化

第4部 今後へ向けて

まず第1部 概要

①SGH事業の概要

②SGH事業推進の校内組織

『持続可能な社会の構築に貢献できるグローバル・リーダーの育成』

広島県立広島中学校・
広島高等学校
(併設型中高一貫教育校)

教育目標

「6年間の計画的・継続的な教育活動により幅広く深い教養と高い知性を
培い、グローバル化時代において活躍することのできる人材を育成する。」

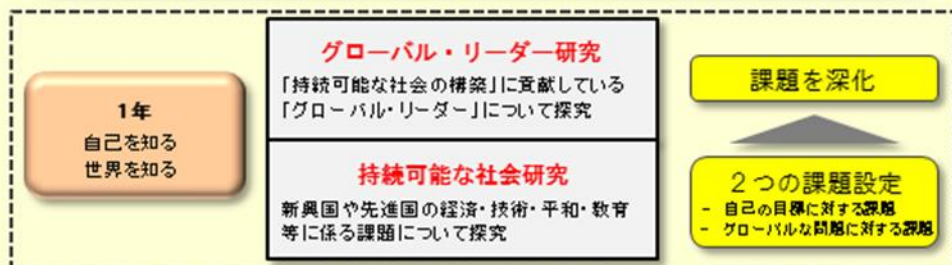
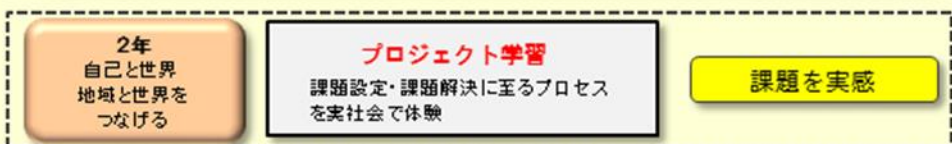
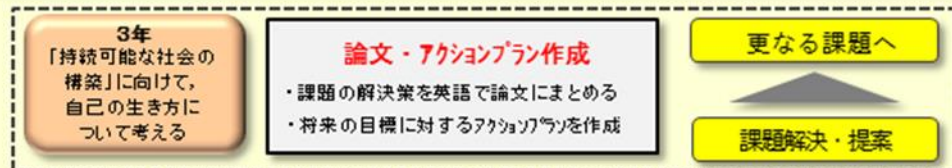
【研究開発の概要】

グローバル・リーダーに必要なコンピテンシーについて教員・生徒が共通認識を持ち、

- 課題研究における系統的な探究学習やフィールドワーク等を通して「高い志」を涵養するとともに「批判的思考力・協働性・創造力」を育成
- 各教科においてパフォーマンス課題を中心に据えた授業改善により「深い知識・技能」「英語力」を育成



【課題研究テーマ】「持続可能な社会の構築」に貢献できる「グローバル・リーダー」
～持続可能な社会とは？世界が直面する課題に対し、あなたはどう向き合う？～



各教科・科目

パフォーマンス課題を中心に据えた
指導法・評価法の開発・実践

H27; 国語 H30; 理科
H28; 英語, 数学 H31; 残りの教科
H29; 地歴・公民

主な連携機関

- <大学>
 - 広島大学 ○ 広島修道大学
- <国際機関>
 - ひろしま国際センター ○ JICA中国国際センター
 - 国連訓練調査研究所 広島事務所
- <海外機関>
 - オーストラリア・クイーンズランド州教育省
 - スタンフォード大学
 - フィリピン・サイエンスハイスクール
 - 県立学校海外姉妹校(112校)
- <広島県内グローバル企業>

【取組の基本的考え方】

・コンピテンシーへの共通認識

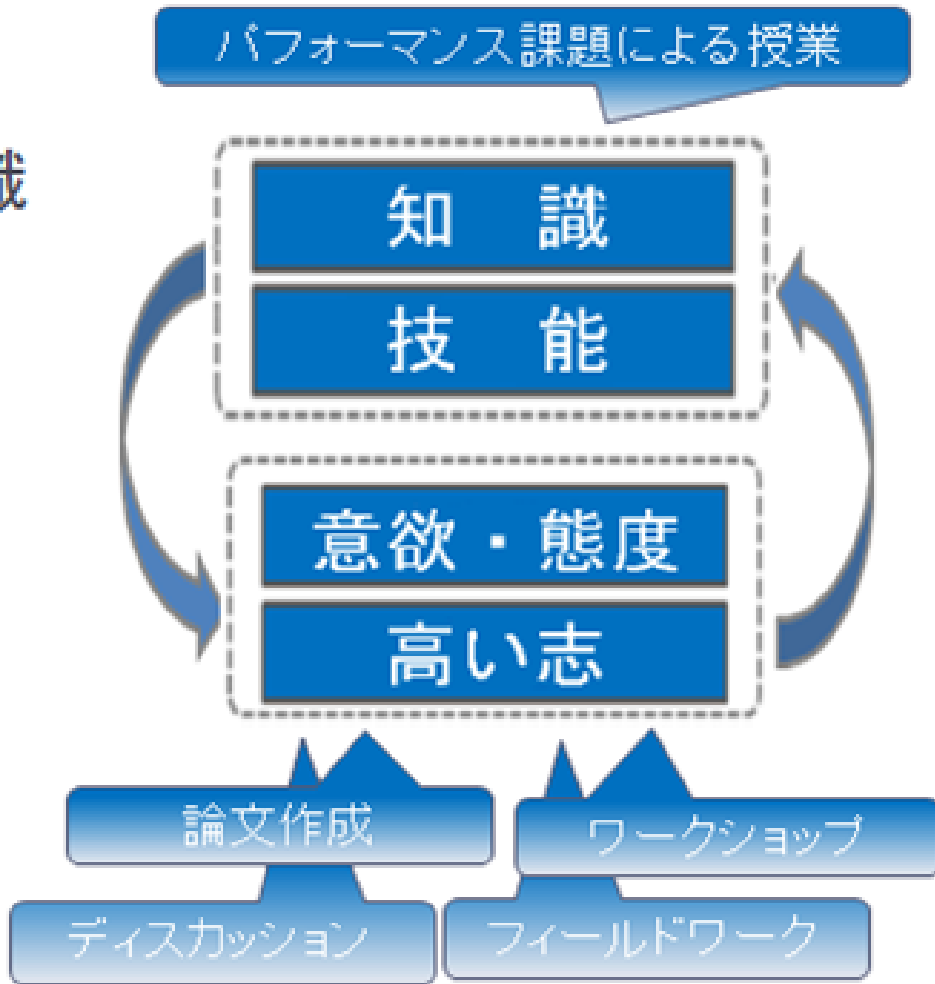


「課題研究」(汎用的能力)と

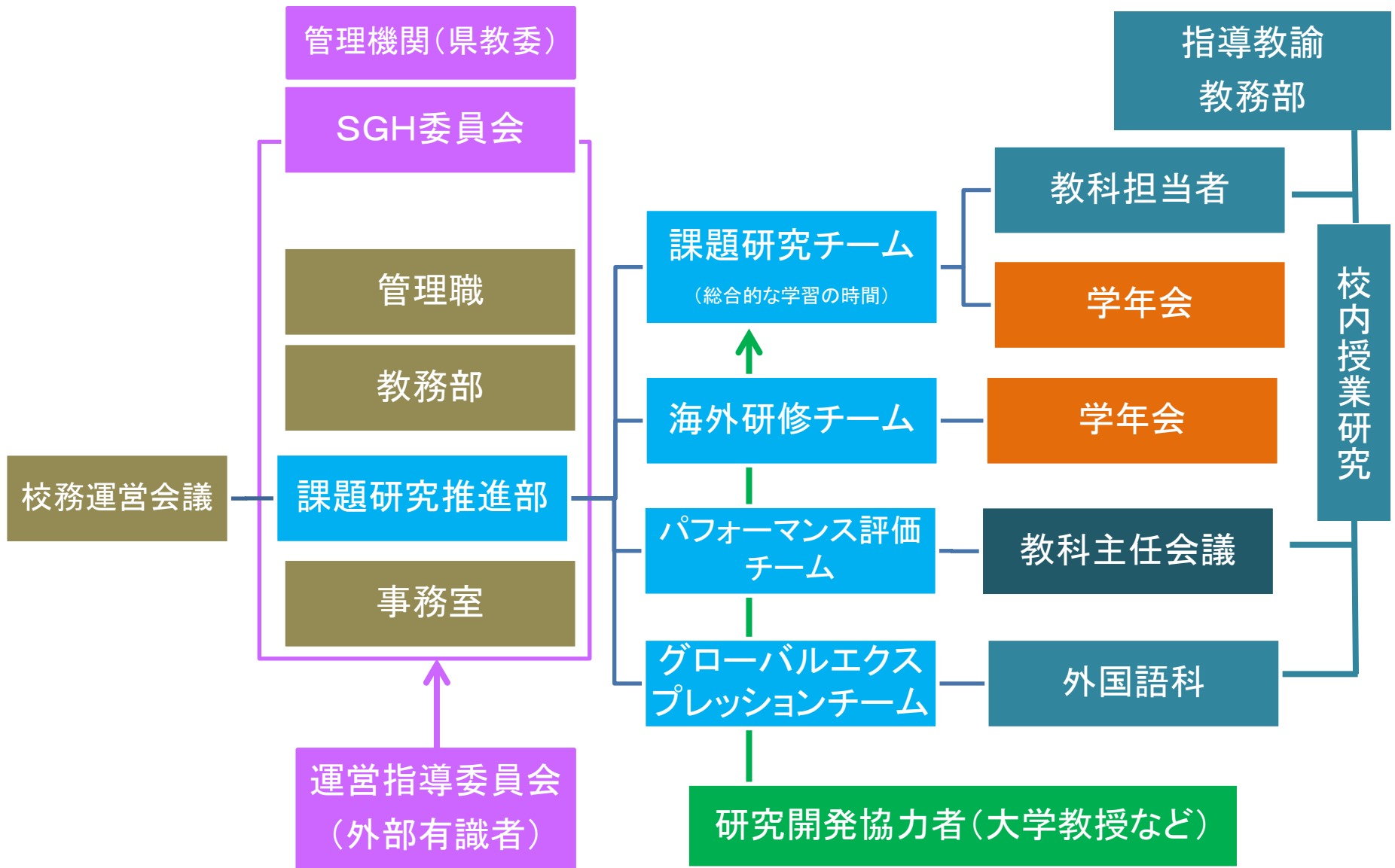
「パフォーマンス評価」

(知識・技能)を関連

コンピテンシー育成の
好循環



課題研究の推進と関連する組織など



第2部

分業と連携

グローバル・リーダー育成のための教育内容づくり

教科と「総合的な学習の時間」などの担当領域はいかに区別すべきか、連携させるべきか

6つのコンピテンシーの育成 教科で行う部分

グローバルリーダーのコンピテンシーの育成・評価について **教科**が主体となるもの



グローバルリーダーのコンピテンシーの
育成・評価について **課題研究**で焦点化するもの

高い志

協働力

深い知識
・ 技能

批判的
思考力

創造力

グローバルリーダーに
必要なコンピテンシー

イベント参加等の行動
グループ活動等
観察や自己評価（GOCア
ンケート）で評価

パフォーマンス課題
発表内容や成果物で評価
（ルーブリックを作成し生徒
間で行う。教員も評価する）

第3部

課題研究の実際

パワーポイントの作成とデータベース化

「知の創造」「知の統合」「知の蓄積」をマネジメントする

SGH高1の到達目標と高2高3の概要

高校1年次（学年全員が対象）

【グローバル・リーダー研究】「持続可能な社会の構築」に向けて、

- a 高校時代の目標を設定し、その目標を達成するための具体的なアクションプランを作成する。
- b 「持続可能な社会」の構築に向けて、自らが解決していきたい課題が設定できる。

【持続可能な社会研究】新興国や先進国の経済・技術・平和・教育面での課題を、自分や自分の地域の問題と関連付けて考え、自分たちにできる解決策をグループ論文にまとめるとともに、自分たちの主張を聞き手に分かりやすく発表できる。

高校2年次（グローバル・コースの80名が対象）

東広島市において、生活・文化・言語等に係る課題解決を目指したプロジェクト学習を行う。学習のまとめとして、課題の解決策の提案・実行を行う。

高校3年次（ハワイ延泊の20名が対象）

1年次に設定した課題に関し、これまでの様々な学習の成果を総動員し、現時点での解決方策について英語で論文にまとめる。また、その課題解決に向けた高校卒業以降の自らの「アクションプラン」を盛り込む。

卒業研究（SGH課題研究）完成に至るまでの流れ

【高校1年次】

- 6月 卒業研究（SGH課題研究）
中間発表会をルーブリックで評価
- 8月 グローバル問題研究夏季集中講座
海外フィールドワーク①inフィリピン
- 10月 山口大学国際総合科学部 徳久准教授講演会
- 11月 「ひろしまの未来を考えてみた！」グループ
ワーク・ポスター発表
- 12月 立教大学文学部 河野教授による哲学対話
冬期休業 データベースの作成
- 3学期 パワーポイント発表「みんなの課題」
- 3月 海外フィールドワーク②inオーストラリア

【高校2年次】

4・5月 アカデミック・スキルズ

6月 卒業研究（SGH課題研究）**中間発表会**を
ルーブリックで評価

東広島市講演会「多文化共生社会を目指して」

7月 **山口大学国際総合科学部**クリスマス講師講演会
東広島市フィールドワーク

10月 **海外フィールドワーク③inハワイ**

広島大学の大学院生が2度指導する。①11月のテーマ・研究方法指導。②2月の中間発表の指導。これを受けて修正，深化を図りながら，3年次には文章で完成する。



【高校3年次】

4月～ 課題研究

6月 卒業研究（SGH課題研究）中間発表会

7月 課題研究の完成・発表会・事後のまとめ

発表者	テーマ
1	特別活動（TOKKATSU）における合意形成と集団志向に関する探索的研究－フィンランドでの留学経験を踏まえた、協働性を育む「沈黙のマネジメントモデル」の開発－
2	回転運動に着目した走り幅跳びにおける踏切前2歩”長－短”の動作の重要性の証明
3	無常観を翻訳する ～日本独自の感性はグローバルになりえるのか～
4	動画解析による卓球のスイングにおける手首・膝の軌跡の計測 ～未経験者と経験者の比較を通して～
5	鏡による住宅用太陽光発電システムの効率化
6	広島県の高等学校における平和教育の在り方について ～アクティブラーニングを使用した授業の提案～
7	「腕組み」が記憶力にもたらすプラセボ効果の検証
8	Research on Colored Pictograms and their Interpretation

高1 課題研究基礎での成果物作成の方法

【持続可能な社会研究】新興国や先進国の**経済・技術・平和・教育面**での課題を、**自分や自分の地域の問題**と関連付けて考え、**自分たちにできる解決策**を**グループ論文**にまとめるとともに、自分たちの主張を聞き手に分かりやすく**発表できる**。 — という構想調書の設定を達成するために

- ①論文は**パワーポイント**で作成する。そもそもプレゼンのためのソフトなので、「**発表できる**」ように作りやすい
- ②パワーポイントのシートで基礎資料、課題設定、分析、解決策などの**データ・ベース**を作る
- ③データ・ベースの資料は自分のパワーポイントに挿入する。学年全体規模の**グループ**による協働作業を含む論文
※データベースシートと個人のPPはデザインを分ける
- ④論文のフォーマット＝挿入すべき必須のシートを指示。その中で「**自分や自分の地域の問題**」「**自分たちにできる解決策**」などを指定しておく

パワーポイント＋データベース化の利点

①知的作業を援助する思考ツールとして利用

- 見出し・画面・ノートの階層性→「深い知識」
- 論理構成をシートの流れとして具体化・視覚化
- データベースのシートをつなげて発想→「創造力」

やったことが全て総合して活かせる。次につながる

②データ・ベースとしての魅力

- 生徒作成物・講演資料・研修成果・教科作成物などすべての学びが「つなげて考える元」となる
- 自分が作成したものが学年や後輩へのギフトになる→「協働力」「高い志」

いいものを自分が創ることで、人を助ける。役に立つ。やりがいがある

③知的操作が形で見えることで指導が容易

データベース原稿の書式

データベースは全て同じデザイン。
個人の論文はそれと違うデザインを使う

分類が先頭
これは、
① 客観事実
31 政治
D SGH講演

データ名も頭に
分類をつける
↓
ソートする

①31D 日本の発展と国際協力

日本の国際援助



日付と誰が作ったシートか
生徒名は番号で。
引用は引用元の書籍, 筆者,
ページをつける

データの分類番号は3種の連番

◆最初は論の構成要素としての分類

- ①客観的事実・データ（分析があれば2枚目以降を追加）
- ②課題設定 ③考えや前提，原則など ④解決策 ⑤その他
- ⑨完成した論文・講演会資料など

◆次は図書分類記号による

話題の分野

◆最後はデータソース

- A 行政などが挙げている公的データ
- B 専門家による研究論文
- C 本校の授業
- D S G Hなどの講演内容
- E 市販の一般的書籍（新書など）
- F 新聞・雑誌などの記事
- G 個人がHPなどに載せている情報
- H 自分自身が体験したこと・考えたこと
- X その他

10 哲学	40 自然科学	70 芸術、美術
11 哲学各論	41 数学	71 彫刻、オブジェ
12 東洋思想	42 物理学	72 絵画、書、書道
13 西洋哲学	43 化学	73 版画、印章、篆刻、印刷
14 心理学	44 天文学、宇宙科学	74 写真、印刷
15 倫理学、道徳	45 地球科学、地学	75 工芸
16 宗教	46 生物科学、一般生物学	76 音楽、舞踊、バレエ
17 神道	47 植物学	77 演劇、映画、大衆芸能
18 仏教	48 動物学	78 スポーツ、体育
19 キリスト教、ユダヤ教	49 医学、薬学	79 諸芸、娯楽
20 歴史、世界史、文化史	50 技術、工学	80 言語
21 日本史	51 建設工学、土木工学	81 日本語
22 アジア史、東洋史	52 建築学	82 中国語、その他の東洋の諸言語
23 ヨーロッパ史、西洋史	53 機械工学、原子力工学	83 英語
24 アフリカ史	54 電気工学	84 ドイツ語、その他のゲルマン諸語
25 北アメリカ史	55 海洋工学、船舶工学、兵器、軍事工学	85 フランス語、プロバンス語
26 南アメリカ史	56 金属工学、鉱山工学	86 スペイン語、ポルトガル語
27 オセアニア史、両極地方史	57 化学工業	87 イタリア語、その他のロマンス諸語
28 伝記	58 製造工業	88 ロシア語、その他のスラブ諸語
29 地理、地誌、紀行	59 家政学、生活科学	89 その他の諸言語
30 社会科学	60 産業	90 文学
31 政治	61 農業	91 日本文学
32 法律	62 園芸、造園	92 中国文学、その他の東洋文学
33 経済	63 蚕糸業	93 英米文学
34 財政	64 畜産業、獣医学	94 ドイツ文学、その他のゲルマン文学
35 統計	65 林業、狩猟	95 フランス文学、プロバンス文学
36 社会	66 水産業	96 スペイン文学、ポルトガル文学
37 教育	67 商業	97 イタリア文学、その他のロマンス文学
38 風俗習慣、民俗学	68 運輸、交通、観光事業	98 ロシア、シベリア文学、その他のスラブ文学
39 国防、軍事	69 通信事業	99 その他の諸言語文学

国際問題は「政治」

論文の構成

- 表題（最後で付け直す）
- 摘要・目次（最後で書く）
- 研究の動機
- テーマ設定
- 困難を生じている事象などの具体例
- その事象の原因などの分析
- 解決のための仮説（今回はここまでできれば可）
- 仮説の検証実験やデータ収集，調査（今回は困難）
- まとめ
- 今回の研究で生じた次の研究課題
- どこかに入れるもの ①持続可能な社会とは何か
②「広島未来」で考えたこと ③SGHの学び

論文作成の後に

①ループリックで相互評価する

この時、データソースや論理展開などを「**批判的思考力**」によって評価する→次の自作に活かす

②自分の作品で使えそうな部分をデータベース用
に加工して、データベースに加える

③作成したパワーポイント（1・2年次）や文章
論文（3年次）もデータベースに加える

④卒業研究などで、後輩に続きをやってほしい場
合は、タイトルの最後に★印をつける

⑤自作に使ったデータベースシートをエクセルの
一覧に入力する→学年引用数最大のシートを表彰

第4部 今後へ向けて

- ①「教科」と「課題研究」の学びを融合させる。
 - ②SGHの取組成果を校内外へ有効発信する。
 - ③新学習指導要領実施に向けた指導内容・校内体制を構築する。
-

ご清聴ありがとうございました。